

2024.5.11  
フレンドパーク石川



# 能登半島地震と珠洲原発

脱原発をめざす首長会議  
2024年度学習会

志賀原発を廃炉に！訴訟原告団  
北野進

# 今日お話ししたいこと

- 1 かつての原発予定地はいま
- 2 珠洲原発計画の概要と経過
- 3 地震と珠洲原発
- 4 反対運動の勝因
- 5 計画撤回後の珠洲

# 能登半島地震

## 震央は高屋の裏山

高屋  
(関西電力の予定地)



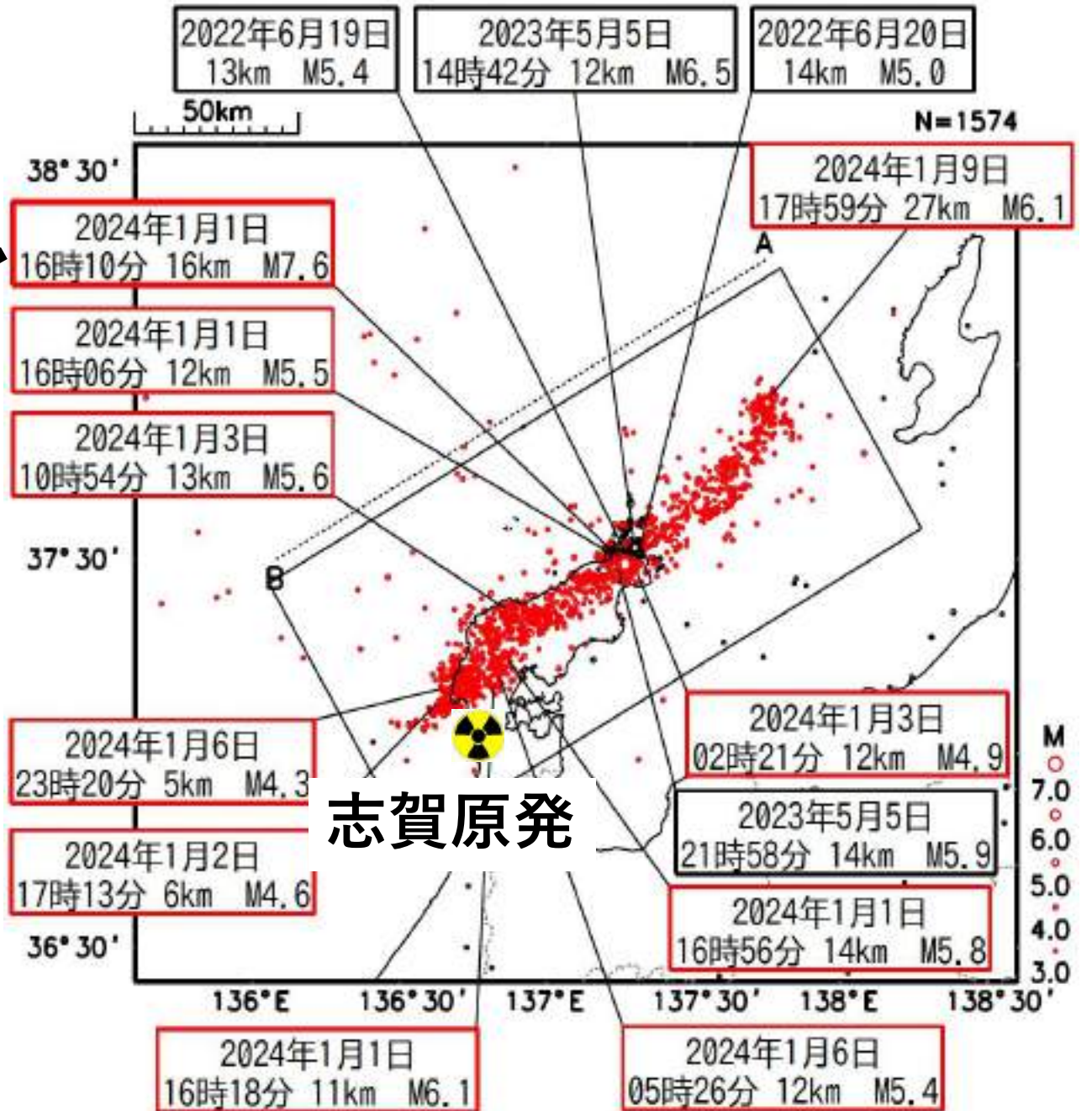
寺家  
(中部電力の予定地)



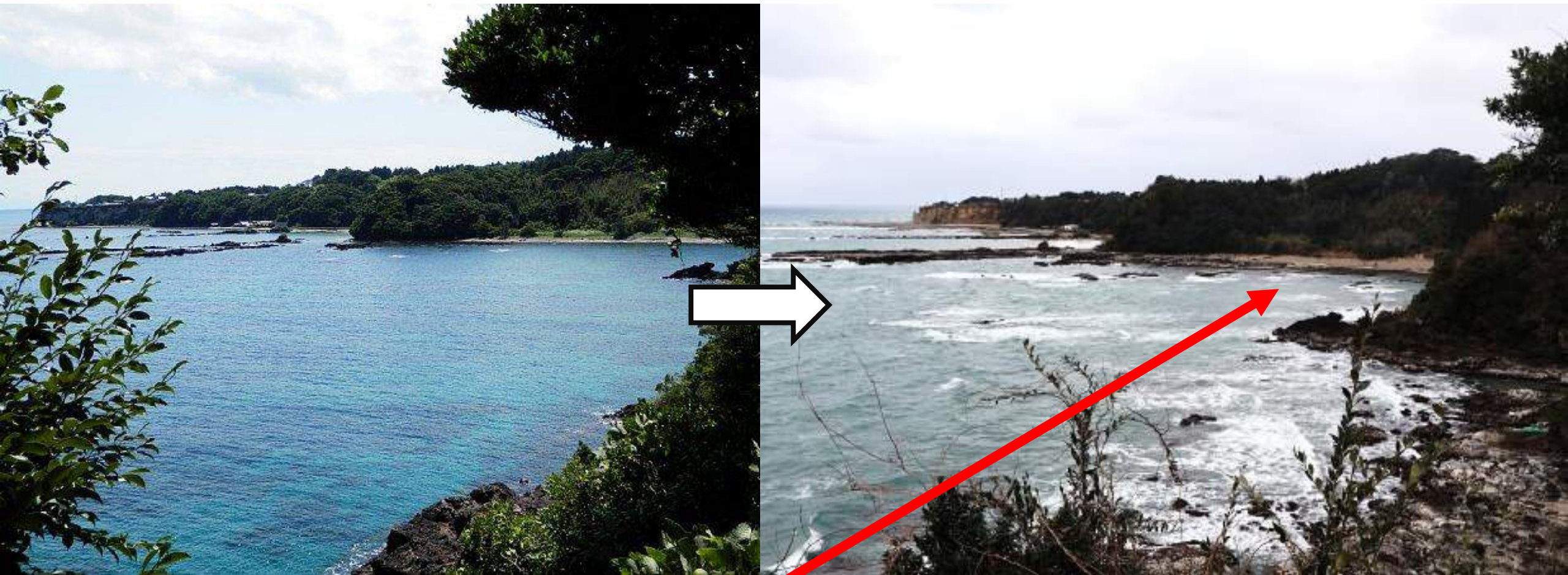
珠洲市

輪島市

能登町



# 中部電力の予定地寺家はいま・・・



2024.1.20北野撮影

炉心予定地が隆起

# 寺家に原発がなくてよかった

炉心予定地前の海岸  
岩場が出現



隆起は  
約1メートル



# 関西電力の予定地**高屋**はいま・・・



予定地一帯は大きく隆起し、陸域が広がる

# 高屋に原発がなくてよかった



隆起は約 2 m

# 隆起、地割れ、陥没、土砂崩れ、落石（高屋の風景）





# 閉じ込められていた

大規模・多数の道路損壊で避難できず

津波、海岸隆起で海路の避難できず

孤立集落住民はヘリでも救出できず

倒壊住宅多数で屋内退避できず

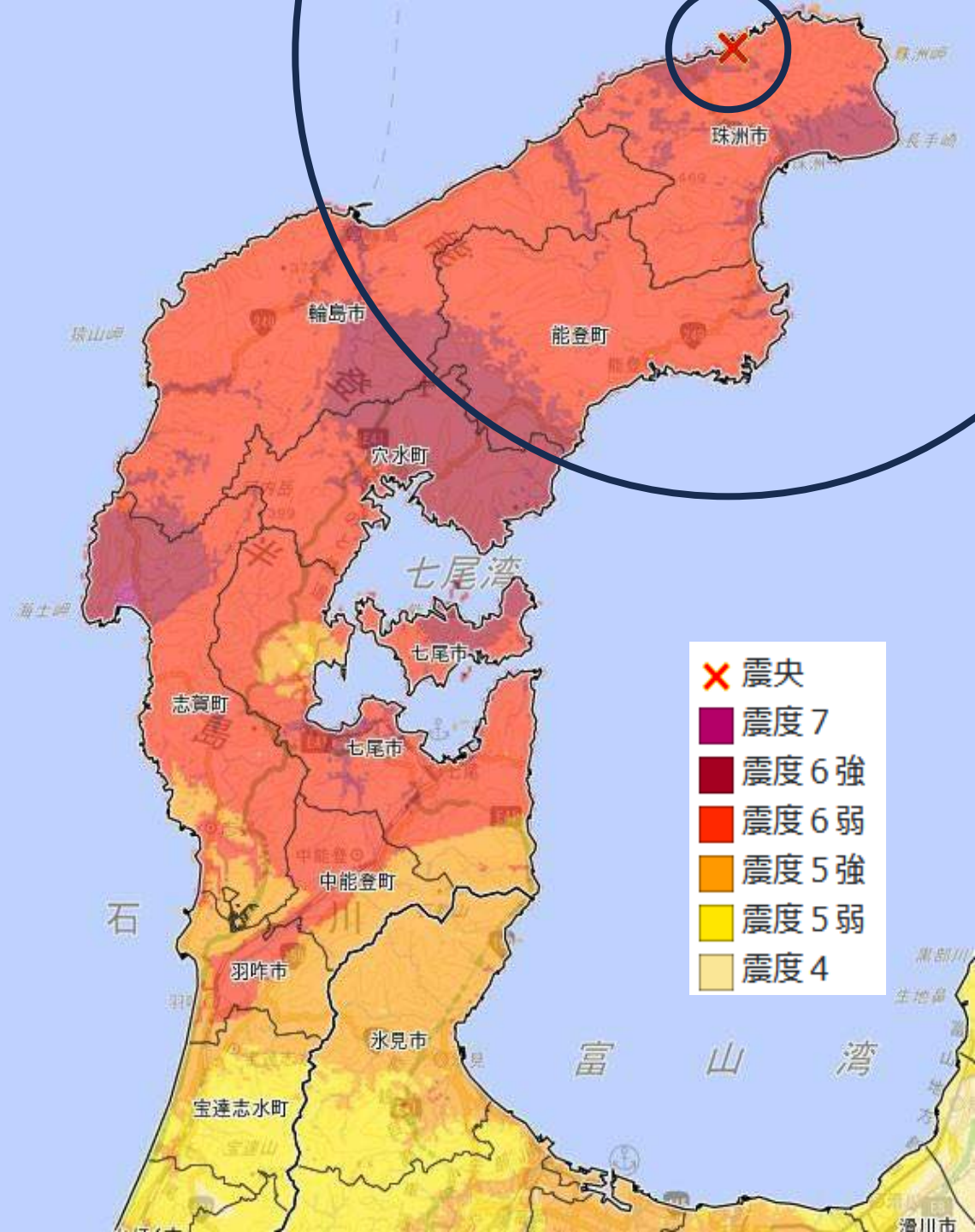
モニタリングポスト18か所欠測

区域外からの支援は途絶える

地震被害者の救出できず

支援物資届かず

道路や通信等インフラの復旧できず



# 珠洲原発の概要

関西電力、中部電力、北陸電力の **3 電力共同開発**  
関電は高屋、中電は寺家、北電は地元の調整役を担う  
当面100万kw級2基建設 将来的には**1000万kw構想**も

1975年 市議会全員協議会が国、県に適地可否調査を要望する  
**地元誘致型**で「珠洲方式」と呼ばれる

1989年 市長選で「反原発票」が過半数  
関電の立地可能性調査に対する阻止行動から**反対運動が一気に拡大**

市長選や県議選、市議選等で原発反対の民意を示す  
共有地運動の展開、蛸島漁協の強固な反対で**立地は年々困難に**

2003年 関電、中電、北電の3電力社長が計画の「凍結」を表明  
事実上の**計画白紙撤回**



# 珠洲原発 事前調査申し入れ

## 『130万キロ級2基を』

### 関電 県、地元 に計画説明

関西電力(本社・大阪市、森井清二社長)と北陸電力(本社・富山市、谷正雄社長)は十四日、珠洲市で計画している珠洲原子力発電所(30万キロ級)の立地について「事前調査させてほしい」と、県、同市に申し入れた。事前調査は、立地の可否についての判断や発電所の基本構想をまとめるために必要で、データを集めるもので、結果が出るのは二年後。また関電は開発規模などについて「百三十万キロ級の加圧水型軽水炉二基」との構想を、画を初めて明らかにした。珠洲原発では、中部電力がすでに担当する同市寺家地区で、地元交渉を進めており、この日の関電の申し入れに、

原立地構想は全体として本格的に動き出した。(関電記者会見)  
県への申し入れは、宮崎勇副知事、川島啓吾・北電の各副社長、珠洲市へは南賢児・関電常務、野沢清・北電石川支店長がそれぞれ行った。県庁では中西陽一知事、杉山栄太郎副知事が応対。中西知事は「地元との協議体制が何より大事。地元とよく話し合いをしてほしい」と強調。電力側は「地権者の大半から同意を得ており、手続きを終えて一日も早く調査に着手したい」と、意欲を示した。



林珠洲市長(右)に事前調査の申し入れ書を手渡す南賢児関電常務(中央)と珠洲市役所で

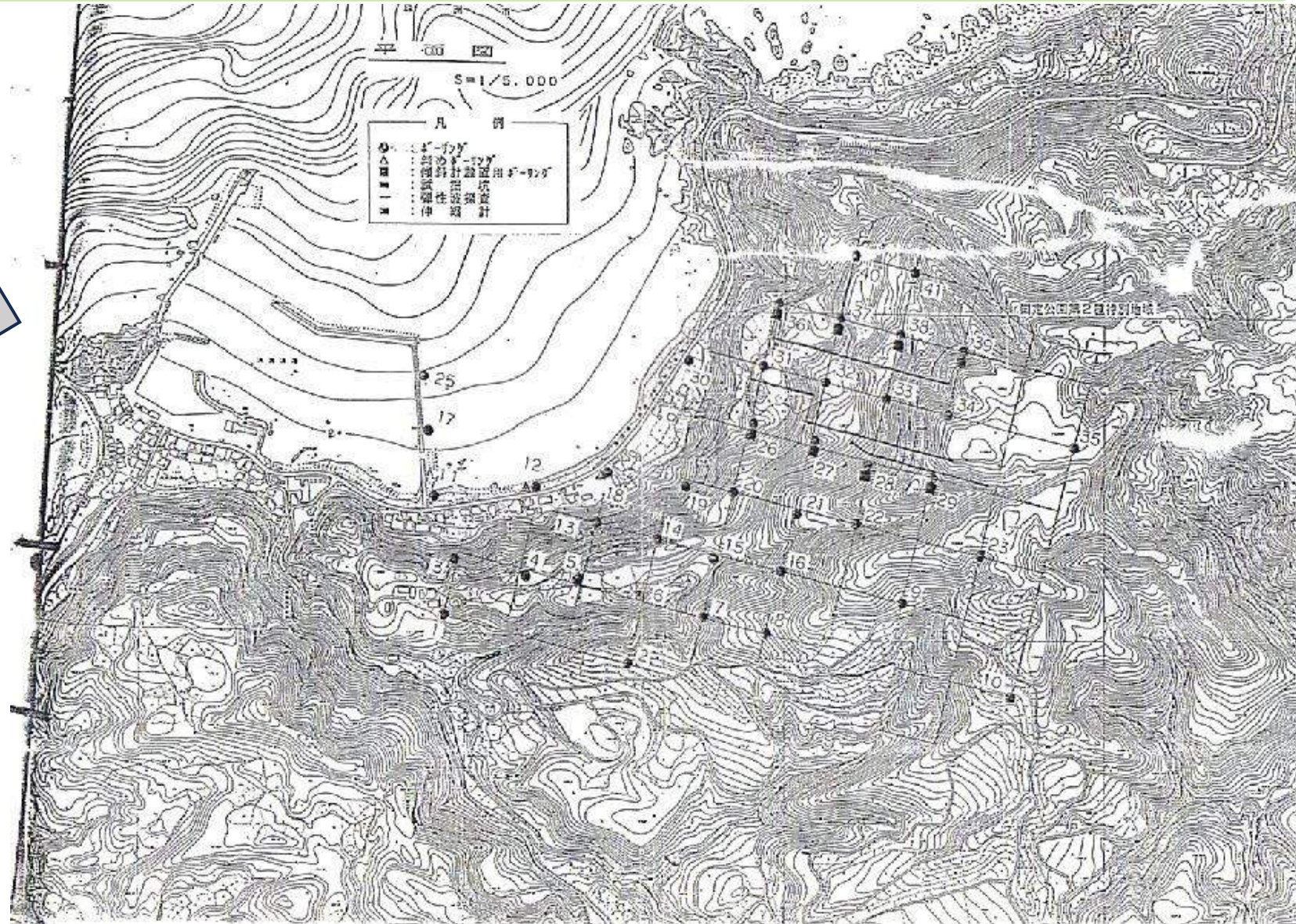


中部電力は十四日、中新状に実施したい意向になっている石川縣珠洲市に申し入れた。珠洲原発の立地を計画している地区で、同区での立地を計画し、西電力が同日、石川

### 来夏めど 中電

1988年12月14日  
関西電力、事前調査の申し入れ

# 事前調査（立地可能性調査）



ボーリングや弾性波探査等を行い「**強固な岩盤**」であることを確認するための調査

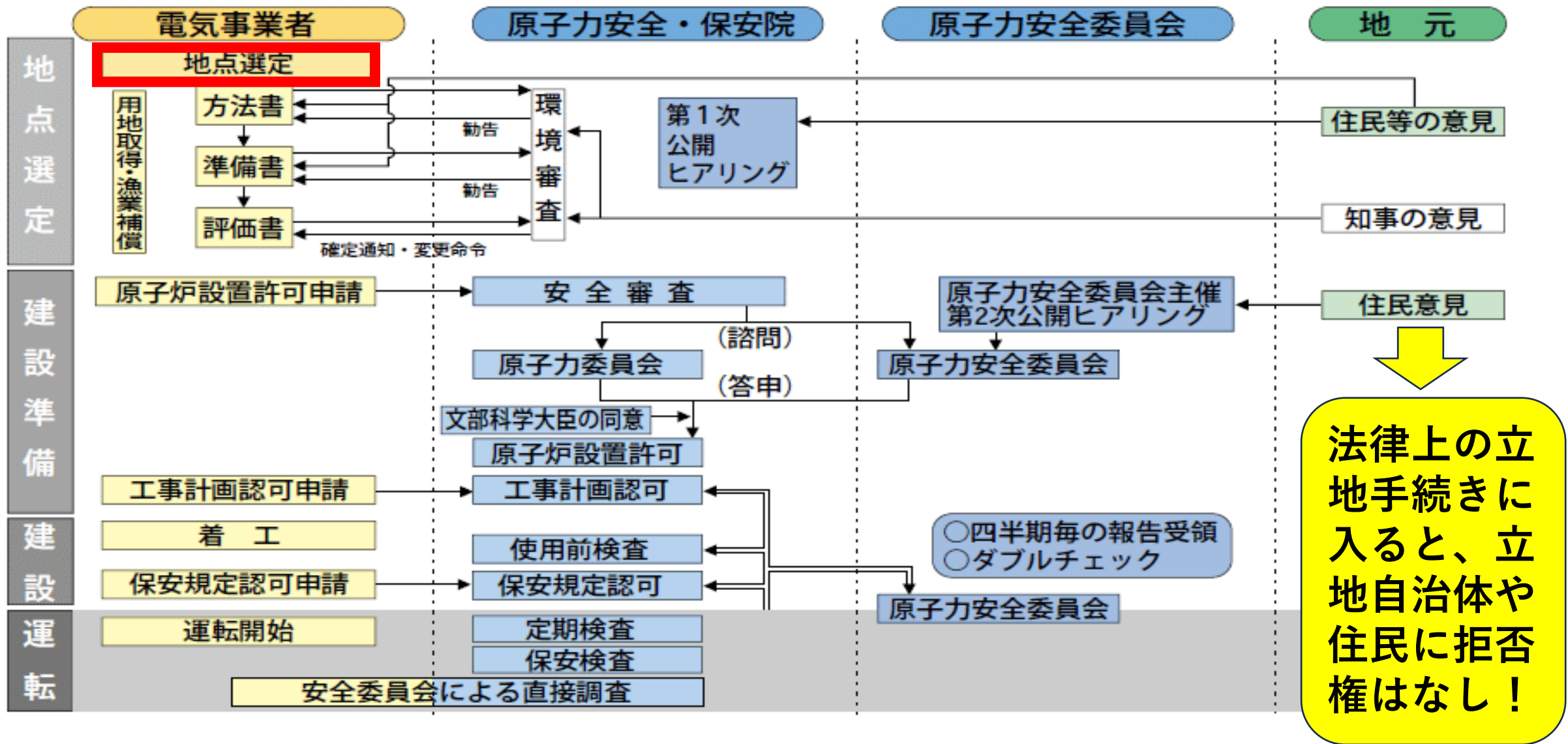


図1 原子力発電所の立地地点・選定段階から運転段階までの手続き等

[出所] 電気事業連合会:「原子力・エネルギー」図面集 2008年版(2008年4月)、p.101、  
<http://www.fepec.or.jp/library/publication/pamphlet/nuclear/zumenshu/pdf/all05.pdf>







# 事前調査また中断

## 珠洲原発 住民らの抗議で

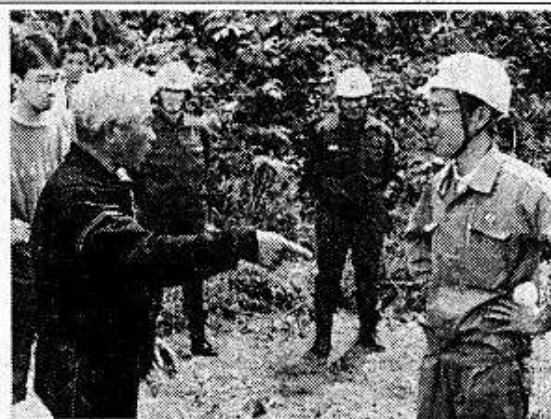
関電

石川県珠洲市高屋町で原発立地の可能性を確認する事前調査を進めている関西電力は十六日も調査を続行したが、地元の一(止)めよう原発(珠洲市民の会) (藤原敏・代表世話人)のメンバーの抗議で約二時間半で調査を打ち切った。

力建設部長の作業員七人は午前七時前に調査場所である同町新保出の山林に入り、ロープを張った後、紙掘坑や資材置き場などの測量を開始。これに対し、珠洲市民の会のメンバーや住民約二十人がロープの外で「この土地は本当に契約した人の土地なのか」「契約書を見せよ」などと抗議

話し、にらみ合いが続いた。同十一時過ぎ、たまりかねた三浦課長が、同市飯田町にある同電力と地味珠洲連絡所に連絡を取り、引き揚げた。作業が午前中で終わったことについて黒木副社長・同電力立地部長は「もともと三分の二間、午前中だけ行っていたことしており、抗議があったから中断させたのではない」と、作業が予定通り進んでいることを強調。一方、反原発グループは「電力側は事前調査を行ったという既成事実をつくらせ、立地可能という結果だけを出し、すぐに原発を建設しようとしている」と訴えている。

同グループは午後から珠洲市役所を訪れ、不在の林幹人副課長に会い、調査を中止し、市長に代わり岡蔵治・地域振興課長に意見を申し入れた。



「調査をすぐ中止しろ」と三浦建設課長(右)につめよる高屋町の住民たち—石川県珠洲市高屋町の事前調査現場で

# 高屋現地での30日間の阻止行動

## 珠洲原発

# 可能性調査1時間で中断

## 反対派抗議話し合い決裂



話し合い公開を求め黒木関電立地部長(中央)と押し問答を続ける反原発グループ—珠洲市の関電現地事務所で

能登半島の先端の珠洲原発・大阪市、森井清二社長と建設問題で、関西電力(本社・北陸電力(本社・富山市、谷

正雄社長)は十二日午前、珠洲市高屋町の新保出地区で、原発立地を採る可能性調査に着手したが、反原発市民グループと地元の一部住民らの強硬な抗議で、開始後わずか一時間余りで作業員を引き揚げこの日の作業を打ち切った。

この日午前八時から、関電立地部・高木信壽次長が現地総合責任者、同電力建設部・三浦健志課長が調査責任者となり、測量技術員ら約二十人が二班に分かれ、県道沿いと山岡部で基準点の確認などの測量と現地踏査を開始した。しかし反原発市民グループの一(止)めよう原発/珠洲

関電側は午前九時二十分、山岡部の作業員に無線を通して下山を指示、作業を中断した。

1989.5.13 北中





# 立地可能性調査中断！

「混乱」收拾のため高屋入りした中西知事と杉山副知事



石川県

調査再開の決定権は県にあり！

病院へ雲隠れした林幹人市長は石川県の信頼を失う



珠洲市



関電

「大丈夫です」と豪語した関電・黒木立地部長は面目丸つぶれ

# 「地震と原発」も大きな争点

1993年4月

高屋での立地可能性調査再開か

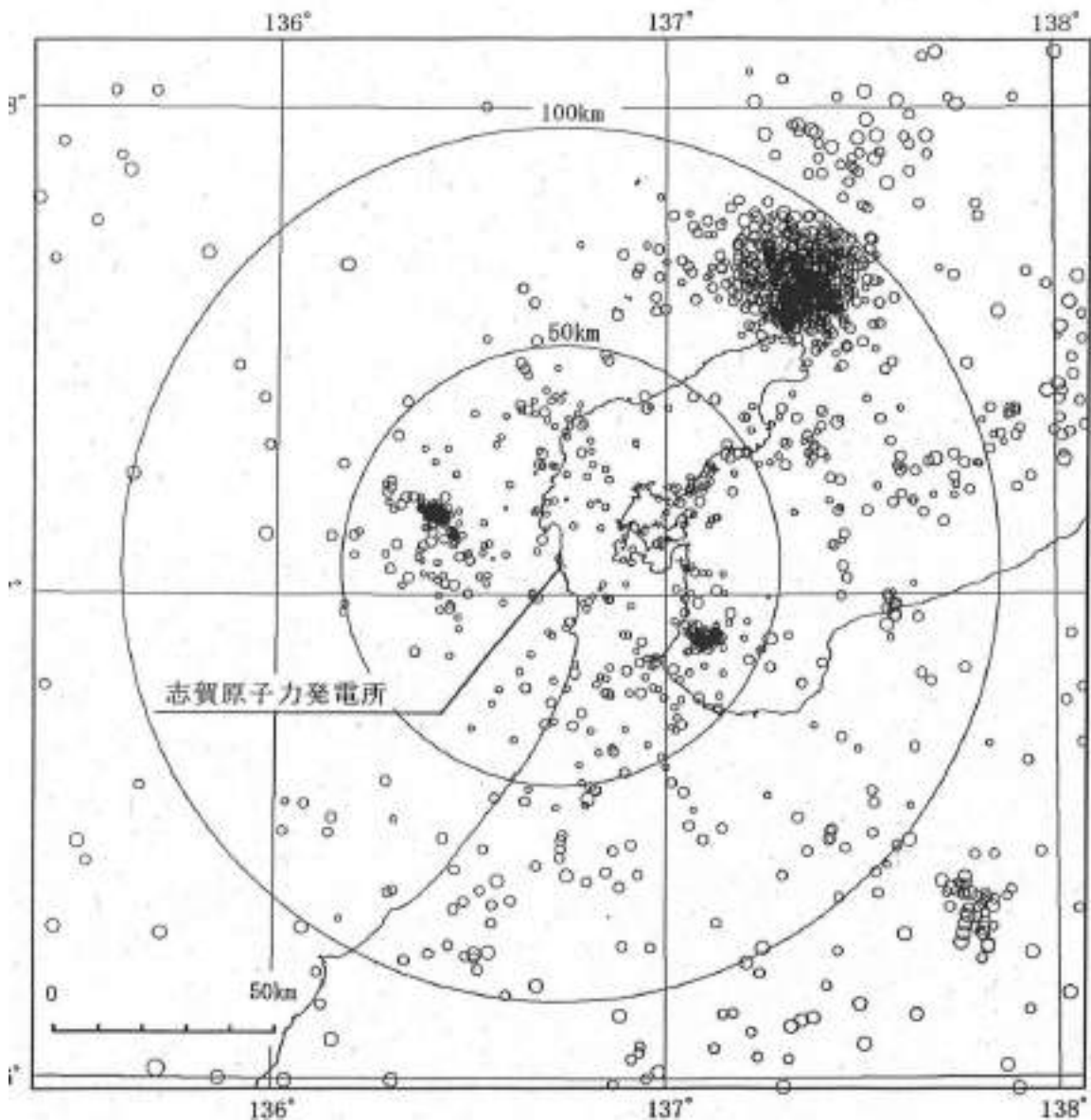
珠洲原発の白紙撤回か

珠洲原発の行方を左右する**市長選**

1993年2月7日

**能登半島沖地震発生！**

# 能登半島沖地震(1993年2月7日 M6.6)



- 負傷者 : 29名
- 住宅全壊 : 1棟
- 住宅半壊 : 20棟
- 一部破損 : 1棟
- 道路被害 : 142箇所
- 水道断水 : 2355箇所 など

⇒ 被害は珠洲市に集中

震度	都道府県	観測所
5	石川県	輪島
4	石川県	金沢
	富山県	富山・高岡
	新潟県	高田
3	新潟県	新潟・相川
	福井県	福井・敦賀
	長野県	長野・諏訪
	岐阜県	高山
	愛知県	名古屋
	滋賀県	彦根



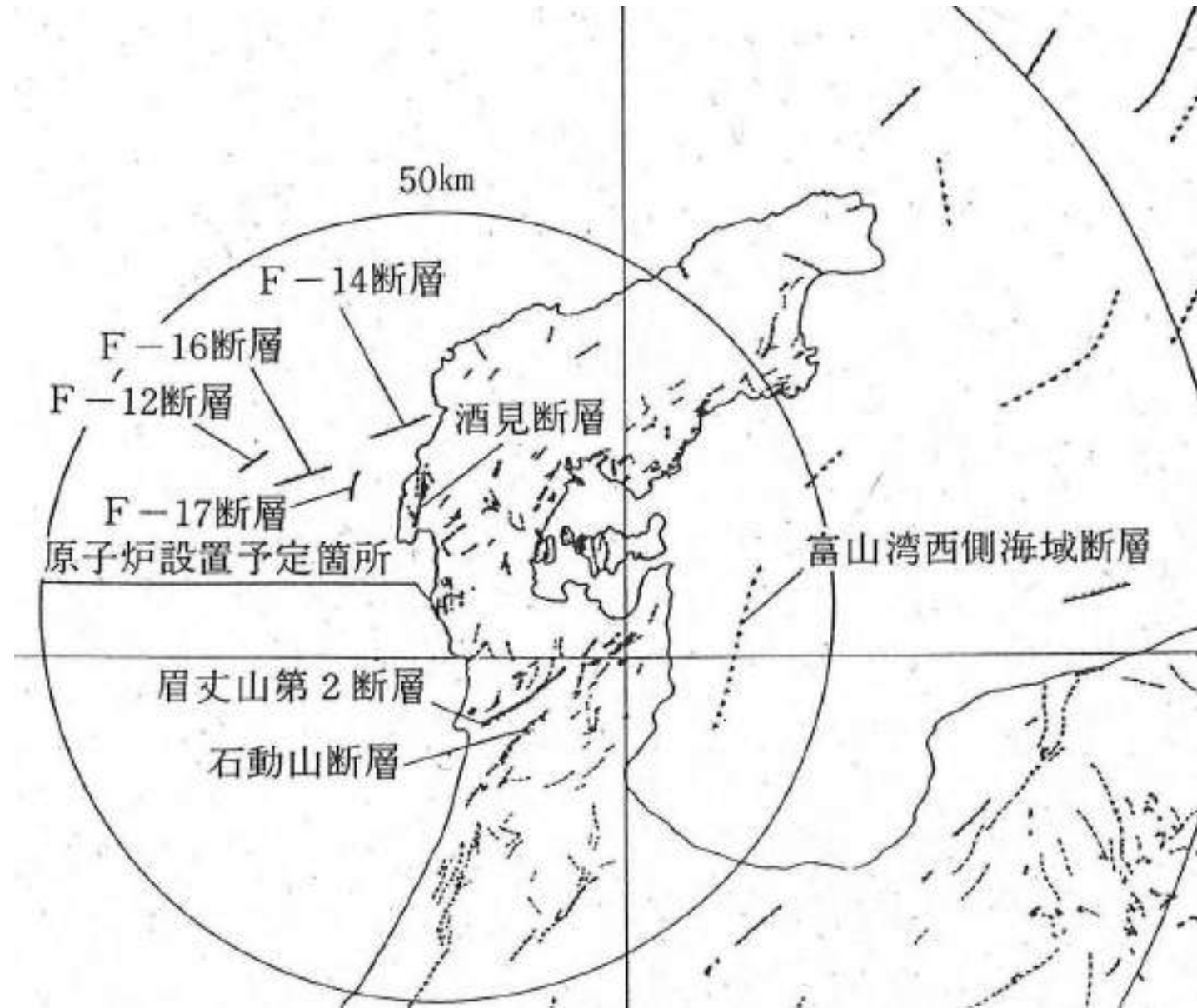
今では到底配布できない千ラシヤ  
パンフが山のよう

# 設置許可申請書で見る能登の活断層

1号機設置許可申請書  
添付資料より  
(1987年1月提出)

2号機設置変更許可申請書もほぼ同様  
(1997年5月提出)

少ない  
短い  
志賀原発周辺にない！



# 「無念の敗戦」から一転「不正選挙糾明」へ

投票者数 17,501票

林 幹人 9,199票

樫田 準一郎 8,241票

無効票 88票

---

計 17,517票

投票総数が  
**16票**多い！





# 「不正選挙」で原発推進の現職当選するも・・・

偽造投票  
用紙の混入

不在者投票  
管理の違法

開票管理の  
違法

1996年5月  
最高裁で選挙無効確定

不正転入

選挙の  
自由妨害

正規投票の  
抜き取り

原発立地をかけた選挙では、民主主義の  
根幹である選挙がここまで歪められる！

# 原発反対選挙をたたかい抜く



# 珠洲原発の建設断念

# 3電力社長が正式表明



貝蔵珠洲市長（中央奥）に珠洲原発の建設断念への理解を求める電力三社の社長

同市役所

関西電力の藤洋作、中部電力の石川谷本正、北陸電力の谷本正吉の3社長が、5日午後、珠洲市の振興策を含め、今後

工  
ネ  
庁

# 「誠意」

2003年  
12月5日

新木宮  
訪れ、  
て三社

対

# 2003年12月5日 3 電力が撤退表明



地元事情  
厳しくて・・・

電力需要が低迷して  
おりました・・・

電力市場の  
自由化が  
進みますので・・・

# 反対派の勝因

## 原発推進の「住民合意」を阻止

1994年、谷本知事誕生

公約は「珠洲原発は**現状では困難**」 「**今後は住民合意を最大限尊重**」

住民合意の  
判断基準

1. 関係漁協の同意
2. 用地買収の状況
3. 関係団体の動向
4. 反対運動の状況
5. 選挙の結果

等を総合的に判断する

市長選、市議選、県議選、知事選等で**原発反対の民意**を示し続ける

**共有地運動**を展開。高屋、寺家の予定地やその周辺数十か所で共有地登記を行い、用地買収を阻止

**漁業権**をもつ蛸島漁協は反対運動の拠点。固い結束を維持する

# 計画白紙撤回へ攻めの選挙 立地阻止の要「共有地」



# 志賀と珠洲 主要経過

## 志賀原発

## 珠洲原発

1967.11 建設予定地公表(志賀町赤住・富来町福浦)

1970. 1 富来町内の用地買収断念

1984. 3 石川県が「肩代わり海洋調査」を実施

1986 4度目の計画縮小で敷地確定

1988. 7 関係漁協の漁業補償等終了

1988.12 1号機着工 1号機差止訴訟提訴

1993. 7 1号機営業運転開始

1999. 8 2号機建設差止訴訟提訴

2006. 3 2号機営業運転開始

2006. 3 金沢地裁(井戸裁判長)差止判決

2012. 6 志賀原発を廃炉に! 訴訟提訴

26年間

1975.11 市議会、敵地可否調査を国・県に要望

1984. 3 関電・中電・北電が統合事務所開設

1988.12 関電、立地可能性調査を珠洲市に申し入れ

1989. 5 関電、立地可能性調査開始、中断へ

2003.12 関電・中電・北電が計画の凍結を表明

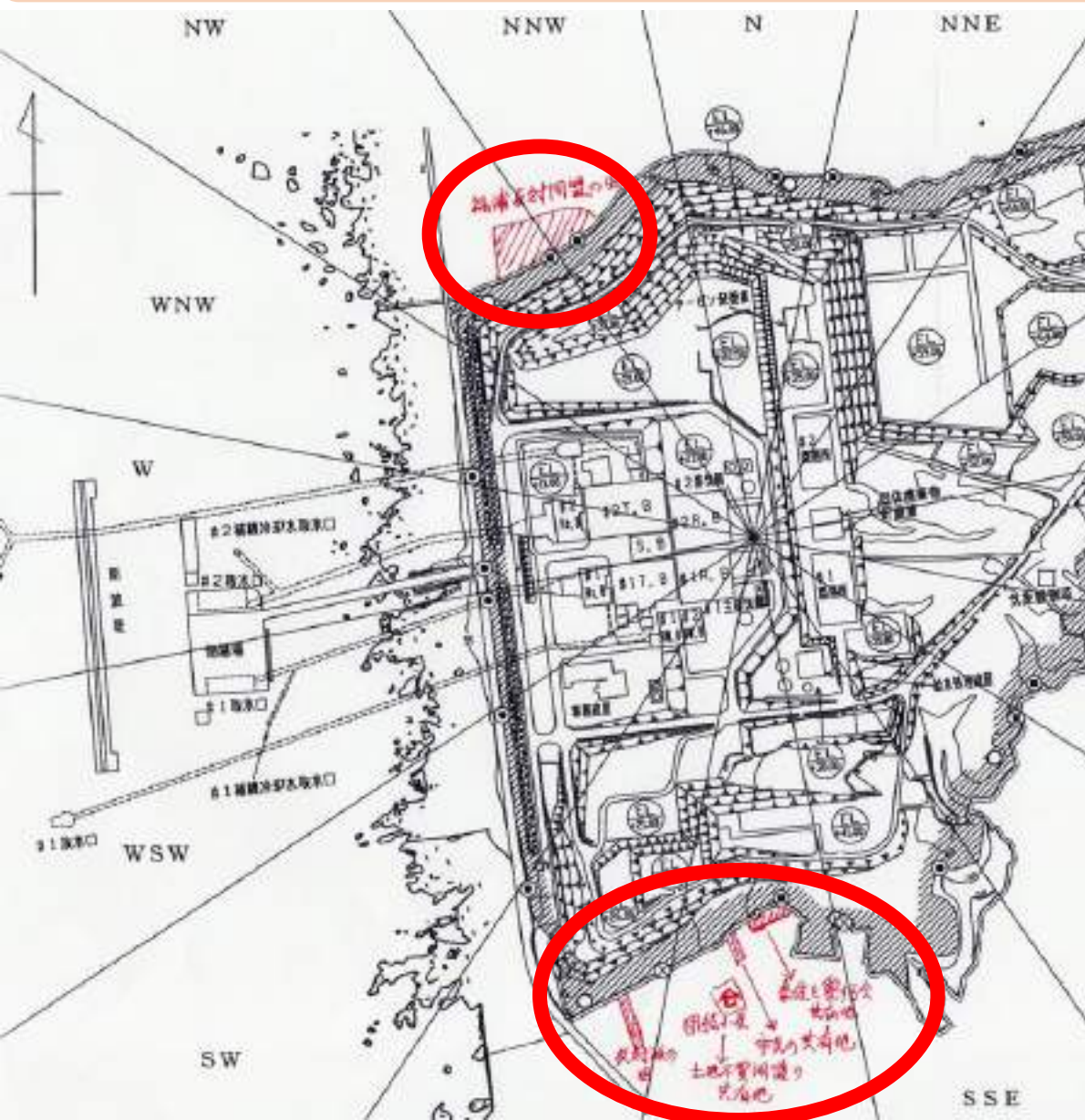
# 志賀原発を廃炉に！訴訟の経過

	金沢地裁	有識者会合	原子力規制委員会
2012.6.26	提訴（以後、41回の口頭弁論）		
2012.7		敷地内断層問題浮上	
2014.8. 12			北電・2号機適合性審査申請
2015.12.28	裁判所「本件訴訟の争点は活断層問題に絞る。規制委員会の判断を待つことはしない」		
2016.4.27		「将来の活動否定できず」の評価書を規制委へ提出	
2016.6.12			適合性審査実質的スタート
2018.3.26	↓ 規制委の判断を待つ（従う）		
2023.3.3			敷地内断層「活動性なし」
2023.5			周辺断層の審査審査本格化
2023.6.1	北電「規制委の判断を踏まえた審理・判断を」		

裁判所の今後の  
審理方針が注目  
される中、能登  
半島地震発生



# 北電、敷地半減で共有地をかわす



4度の計画縮小で  
154万 $m^2$ に！



# 反対漁協つぶしは石川県が担う

能登（志賀）原発反対を貫く西海漁協

1983年

- ・共同漁業権見直しの年
- ・まき網漁の免許更新の年



許認可権を盾に県が西海漁協に圧力  
組合長交代へ

海洋調査を県が肩代わり  
調査結果を北電に売却





# 電力撤退後の珠洲市はどうなった？

市民の融和は思いのほか早く進む

反対派：「勝った！」とは言わない

推進派：原発を語っても詮無いこと

推進派の原発への未練は残る



東京電力福島第一原発事故

群発地震～能登半島地震

珠洲に原発がなくてよかった